

水産物の産地水揚量・卸売価格、輸出入
及び家計消費の月別動向について(月報)
(平成21年8月)

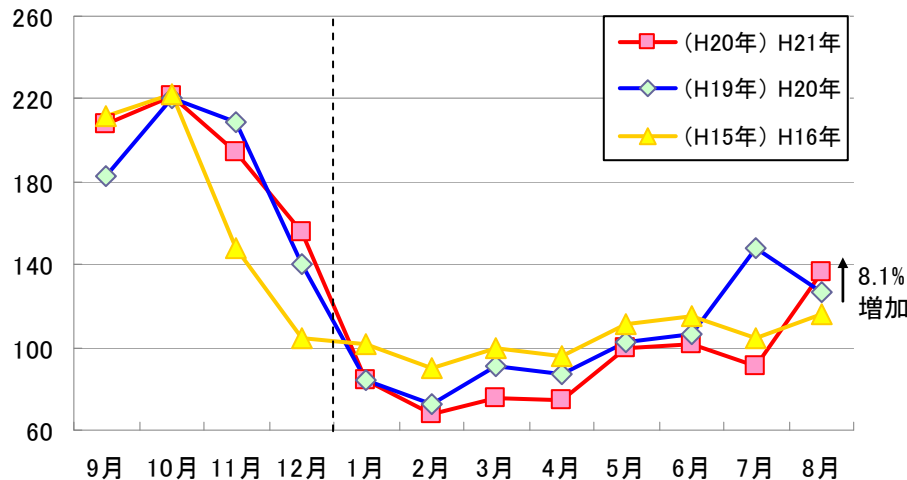
平成21年11月
水産庁漁政部企画課

1 産地水揚量の動向

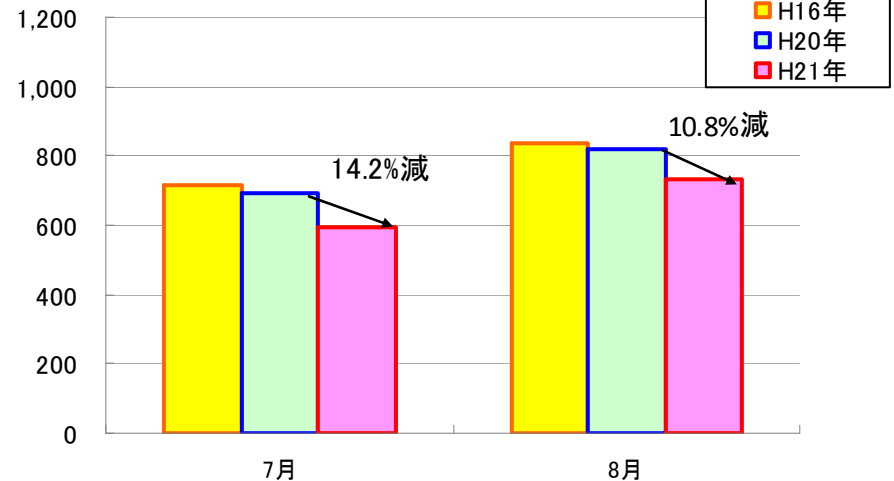
○平成21年8月の水産物産地水揚量は137千トで、前年同月と比べ8.1%増加した。7月に漁が開始されたさんまについては、7月の好漁が8月に入っても続いたことから前年同月比46.1%増加。生鮮するめいかについては、釧路沖でまとまりを見せたことから、いか釣漁業が好調で前年同月比112.8%増加した。さば類は5月からの不調が続く、前年同月比-23.3%と大幅に減少した。

○平成21年の水産物の累計産地水揚量は8月までで731千トで、前年同期と比べ10.8%減少した。これは、累月ベースで、生鮮するめいか(105.0%増)、まいわし(99.0%増)、さんま(45.0%増)等で水揚量が増加した以上に、さば類(22.0%減)、生鮮かつお(45.0%減)、ほっけ(33.0%減)等で水揚量が減少したためである。

■産地水揚量の推移(単月ベース)



■7月、8月の累計産地水揚量の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21累計
水揚量	数量(千トン)	1,603	84	67	76	75	99	101	91	137	731
	前年同月比	-1.1%	0.0%	-7.2%	-16.7%	-14.3%	-3.5%	-4.9%	-38.4%	8.1%	-10.8%
	H16年同月比	※-1.7%	-17.1%	-25.5%	-23.8%	-21.6%	-11.1%	-11.9%	-12.5%	17.7%	-12.4%

出典:農林水産省「産地水産物流通統計」

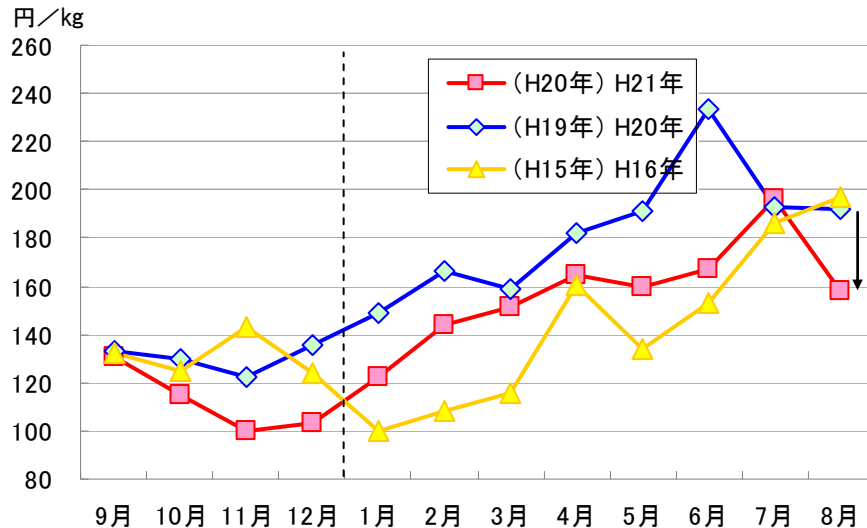
- 注: 1) 本統計は、全国2177漁業地区のうち、漁業地区別の総水揚量が海面漁業生産量のおおむね7割を占めるまでの漁業地区から、対象品目ごとに上場水揚量の上位20漁業地区を選定し、そのうち原則として調査対象品目が5品目以上ある漁業地区を対象として集計したものである。
 2) 本統計による平成19年の年間水揚量(1682千トン)の総生産量(5639千トン)に対する割合(カバー率)は約30%である。
 3) 2003年の数値については、現在の区分にないデータ(まかじき等)を除いて算出している。
 4) 表中の※については、平成15年合計値との比較である。

2 産地平均卸売価格の動向

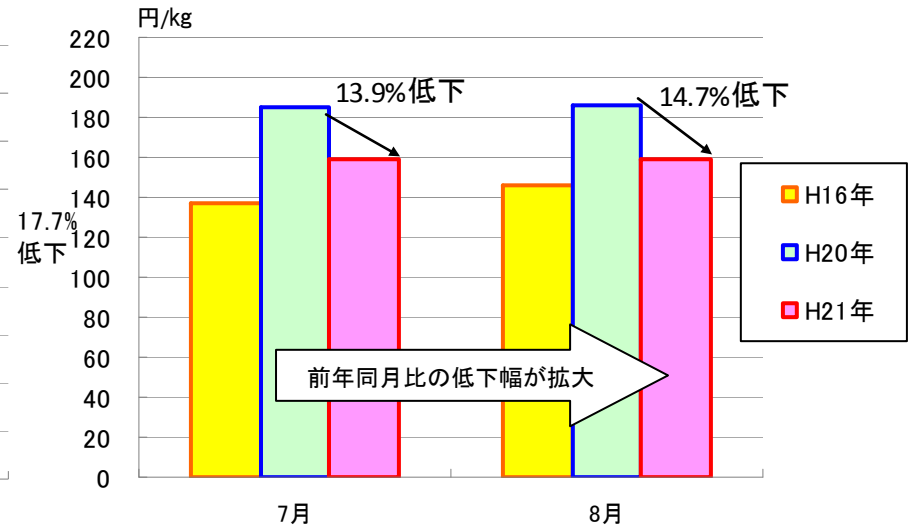
○平成21年8月の産地平均卸売価格は158円/kgで、前年同月と比べ17.7%低下した。これは、前年同月と比べ、生鮮まぐろ、冷凍するめいか、生鮮するめいか等で水揚金額が増加したものの、冷凍かつお、生鮮かつお、さば類等で水揚金額が減少したためである。

○平成21年の平均(累計平均)の産地卸売価格は8月までで159円/kgで、前年同期と比べ14.7%低下し、前年同期比13.9%低下であった先月から低下幅は拡大した。累月ベースでは、生鮮するめいか、まいわし、冷凍近海するめいか等で水揚金額が増加したが、冷凍かつお、さば類、生鮮かつお等で水揚金額が減少した。

■産地平均卸売価格の推移(単月ベース)



■7月、8月の産地平均卸売価格(累計平均)の変化



		H20平均	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21平均
平均産地卸売価格	価格(円/kg)	150	123	144	151	165	160	167	196	158	159
	前年同月比	4.9%	-17.4%	-13.3%	-4.8%	-9.4%	-16.3%	-28.4%	1.4%	-17.7%	-14.7%
	H16年同月比	※0.0%	22.8%	33.7%	30.7%	2.7%	19.7%	9.3%	5.3%	-20.0%	8.9%

出典:農林水産省「産地水産物流通統計」

注: 1) 本統計は、全国2177漁業地区のうち、漁業地区別の総水揚量が海面漁業生産量のおおむね7割を占めるまでの漁業地区から、対象品目ごとに上場水揚量の上位20漁業地区を選定し、そのうち原則として調査対象品目が5品目以上ある漁業地区を対象として集計したものである。

2) 本統計による平成19年の年間水揚量(1682千トン)の総生産量(5639千トン)に対する割合(カバー率)は約30%である。

3) 2003年の数値については、現在の区分にないデータ(まかじき等)を除いて算出している。

4) 表中の※については、平成15年合計値との比較である。

(参考)魚種別の累計水揚量・卸売価格

品目	累積の上場水揚量 (t)			累積の平均卸売価格 (1kg当たり円)			
	平成21年 1月～8月	20年 1月～8月	対前年 同期比	平成21年 1月～8月	20年 1月～8月	対前年 同期比	
			%			%	
まぐろ (生鮮)	1	2 094	2 670	78	1 490	1 643	91
〃 (冷凍)	2	264	424	62	1 695	3 266	52
びんなが (生鮮)	3	33 001	27 292	121	267	303	88
〃 (冷凍)	4	14 264	8 400	170	276	401	69
めばち (生鮮)	5	3 827	4 856	79	971	992	98
〃 (冷凍)	6	11 646	14 390	81	779	834	93
きはだ (生鮮)	7	6 546	8 677	75	644	631	102
〃 (冷凍)	8	4 827	6 227	78	546	583	94
かつお (生鮮)	9	33 456	60 354	55	369	297	124
〃 (冷凍)	10	140 794	159 923	88	151	202	75
まいわし	11	27 070	13 613	199	104	109	95
うるめいわし	12	11 380	9 445	120	66	75	88
かたくちいわし	13	65 420	79 068	83	34	57	60
まあじ	14	73 046	72 457	101	169	232	73
むろあじ	15	11 290	14 977	75	122	103	118
さば類	16	173 727	221 686	78	76	91	84
さんま	17	29 317	20 163	145	153	235	65
ほっけ	18	47 327	70 296	67	49	60	82
するめいか (生鮮)	19	28 828	14 073	205	154	187	82
〃 (冷凍、遠洋)	20	717	1 269	57	176	183	96
〃 (冷凍、近海)	21	12 074	8 826	137	232	218	106

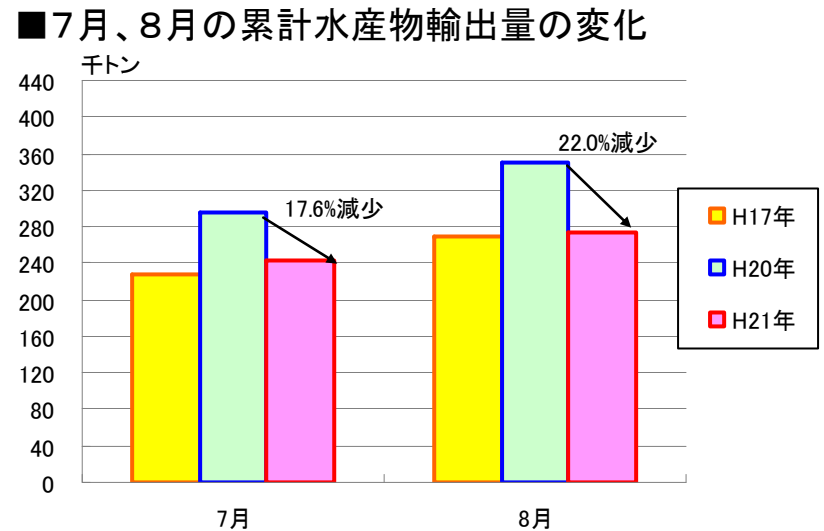
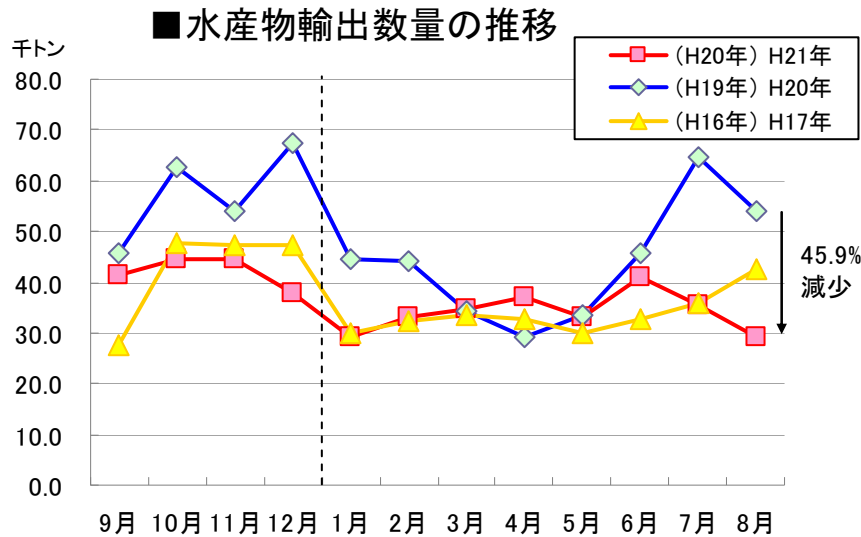
資料:農林水産省「産地水産物流通統計」

注:1)「まぐろ」とは、くろまぐろ及びみなみまぐろの合計である。

3-① 水産物輸出数量の動向

○平成21年8月の水産物輸出量は29.3千トで、前年同月と比べ45.9%減少した。すけとうだら(43.9%増)、さば缶詰(166.8%増)等が好調で前年同月を上回ったものの、円高や漁獲量の減少により、さば(55.7%減)、かつお類(85.2%減)、まぐろ類(59.1%減)等で輸出量が大幅に減少した。

○平成21年の水産物の累計輸出量は8月までで273.1千トで、前年同期と比べ22.0%減少した。品目別にみると、びんながが好調であったまぐろ類(42.3%増)、すけとうだら(20.3%増)、冷凍さんま(14.8%増)等で輸出量が増加。円高や世界的な経済不況の影響により、かつお類(77.1%減)、さば(40.6%減)、いか(36.2%減)等の品目で輸出量が減少した。



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21累計
輸出	数量(千トン)	518.4	29.2	33.0	34.8	37.2	33.1	41.0	35.5	29.3	273.1
	前年同月比	-15.3%	-34.3%	-25.5%	1.5%	27.7%	-0.7%	-10.7%	-45.0%	-45.9%	-22.0%
	H17年同月比	※22.2%	-2.3%	1.9%	4.1%	13.3%	10.5%	25.4%	-0.5%	-31.3%	1.4%

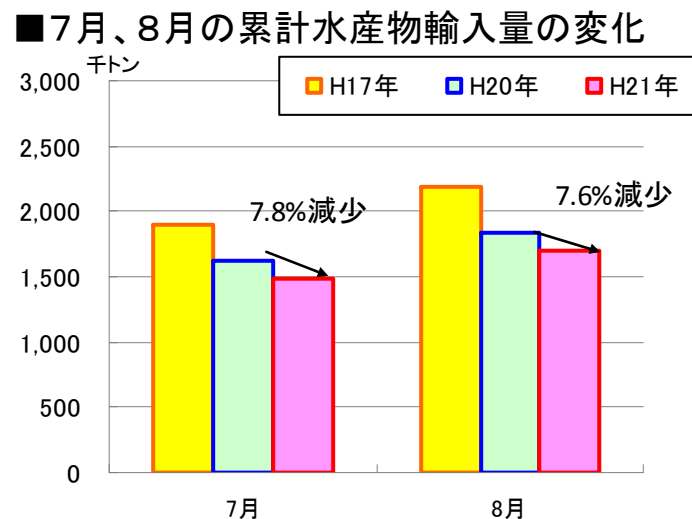
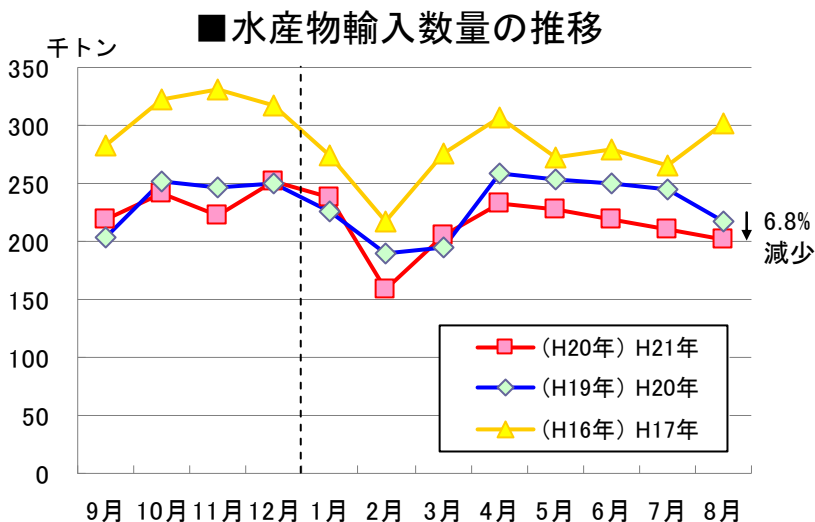
資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

- 注: 1)表中の※については、平成16年合計値との比較である。
 2)毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

3-② 水産物輸入数量の動向

○平成21年8月の水産物輸入量は202千トで、前年同月と比べ6.8%減少した。昨年の燃油高騰による遠洋まぐろ延縄漁船の4国一斉休漁(日本、韓国、台湾及び中国)に伴い輸入量が減少していたまぐろ類では、輸入量が51.6%増加。また、めぬけ(あかうお)(28.0%増)、たこ(48.9%増)で輸入量が増加した。一方、魚粉(26.7%減)、ひらめ・かれい(41.7%減)、たら(31.8%減)等では輸入量が減少した。

○平成21年の水産物の累計輸入量は8月までで1,694千トで、前年同期と比べ7.6%減少した。品目別に見ると、円高や国内需要が増加したかつお類では輸入量が85.1%増加。あさり(50.0%増)、魚油(28.1%増)等で輸入量が増加している。さけ・ますでは、チリ産銀さけの減産により輸入量が8.3%減少。米国产すけとうだらの減産によりたら(25.0%減)、たらの卵(19.4%減)で輸入量が減少した。



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21計
輸入	数量(千トン)	2,768	238	159	206	233	227	219	210	202	1,694
	前年同月比	-4.0%	5.2%	-16.4%	5.9%	-10.3%	-10.1%	-12.0%	-14.5%	-6.8%	-7.6%
	H17年同月比	※-20.6%	-13.3%	-27.1%	-25.5%	-24.3%	-16.5%	-21.4%	-21.2%	-33.0%	-22.8%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

- 注: 1)表中の※については、平成16年合計値との比較である。
2)毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

(参考)品目別の累計輸出入数量

輸出量(千トン)				輸入量(千トン)			
品目	平成21年 1～8月	平成20年 1～8月	前年 同月比	品目	平成21年 1～8月	平成20年 1～8月	前年 同月比
さば(冷蔵・冷凍)	54.8	92.3	-40.6%	魚粉	186.4	181.8	2.5%
さんま(冷凍)	34.2	29.8	14.8%	さけ・ます(生・蔵・凍)	169.7	184.5	-8.0%
すけとうだら(生・蔵・凍)	33.1	27.5	20.3%	まぐろ類(生・蔵・凍)	143.1	143.7	-0.4%
まぐろ類(生・蔵・凍)	25.3	17.8	42.3%	えび(活・生・蔵・凍)	125.3	126.2	-0.7%
さけ・ます(生・蔵・凍)	17.7	22.1	-20.0%	いか(活・生・蔵・凍もんごう含む)	53.8	56.7	-5.2%
いか(生・蔵・凍)	13.8	21.6	-36.2%	えび(調製)	41.3	40.9	1.0%
かつお類(生・蔵・凍)	11.4	49.9	-77.1%	かに(活・生・蔵・凍)	41.1	44.7	-7.9%
ホタテ貝(生・蔵・凍・塩・乾)	6.4	7.3	-13.2%	かつお類(生・蔵・凍)	39.2	21.2	85.1%
ほや(活・生・蔵)	4.8	3.9	23.2%	たら(生・蔵・凍・すり身)	38.6	51.5	-25.0%
練り製品(魚肉ソーセージ等)	4.2	5.3	-21.0%	たこ(活・生・蔵・凍)	35.0	33.3	4.9%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」、財務省「貿易統計」

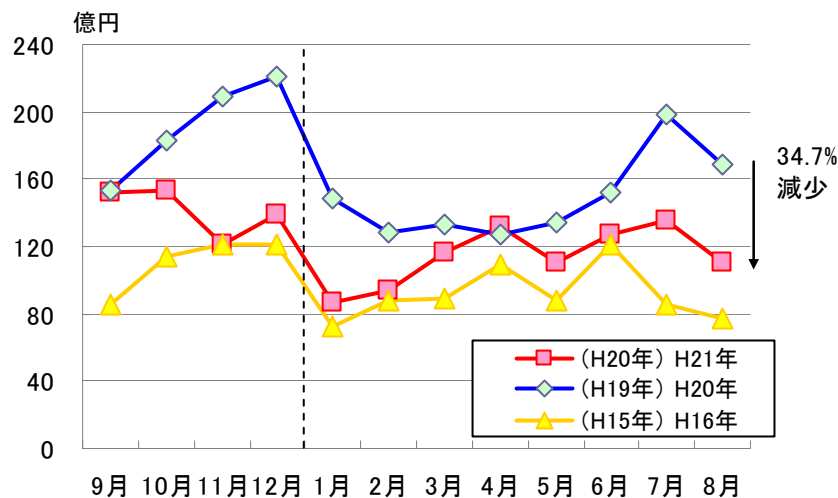
注:1)本表における数値は、「農林水産物輸出入情報」(以下「輸出入情報」という)の集計区分による数値を基に水産庁漁政部企画課で集計したものである。

4-① 水産物輸出金額(真珠を除く)の動向

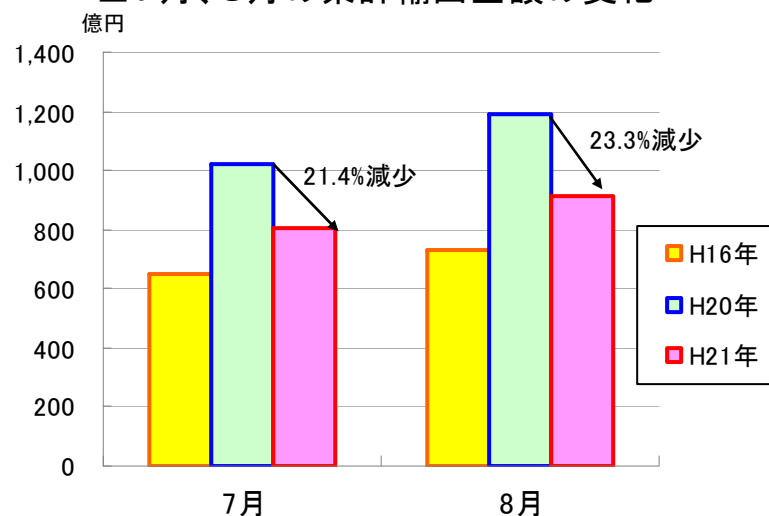
○平成21年8月の水産物輸出金額は110億円で、前年同月と比べ34.7%減少した。これは、さば缶詰(187.7%増)、乾こんぶ(116.6%増)、冷凍かに(36.1%増)等で輸出金額が増加した以上に、かつお類(91.0%減)、さば(67.3%減)、まぐろ類(53.2%減)等で輸出金額が減少したためである。

○平成21年の水産物の累計輸出金額(真珠除く)は8月までで914億円で、前年同期と比べ23.3%減少した。品目別にみると、ぶり(44.9%増)、貝柱調製品(21.4%増)、さば缶詰(321.5%増)等で輸出金額が増加。円高や世界的な経済不況により、かつお類(85.3%減)、さば(50.7%減)、乾燥なまこ調製品(30.5%減)等で輸出金額が減少した。

■水産物輸出金額の推移(単月ベース)



■7月、8月の累計輸出金額の変化



輸出	金額(億円)	H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21累計
	前年同月比	-13.1%	-41.5%	-26.7%	-12.7%	3.7%	-17.4%	-16.2%	-31.5%	-34.7%	-23.3%
	H16年同月比	※59.5%	20.2%	7.0%	31.2%	19.8%	27.0%	5.7%	58.9%	43.1%	25.2%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注:1)表中の※については、平成15年合計値との比較である。

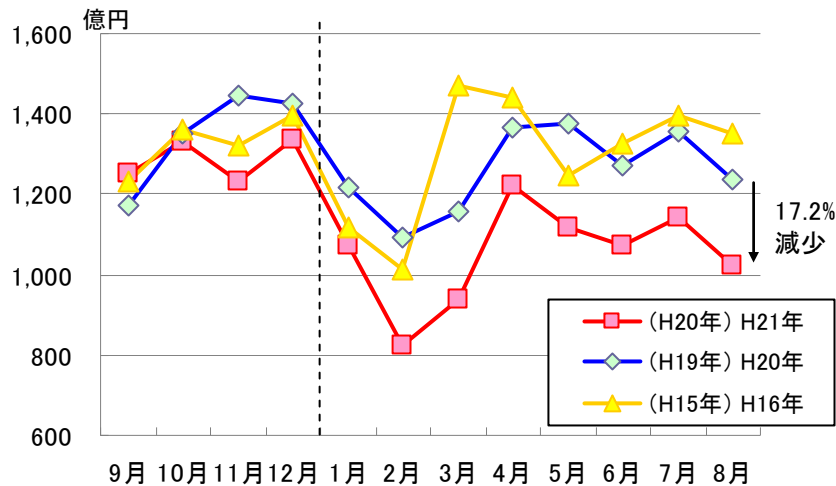
2)毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

4-② 水産物輸入金額(真珠を除く)の動向

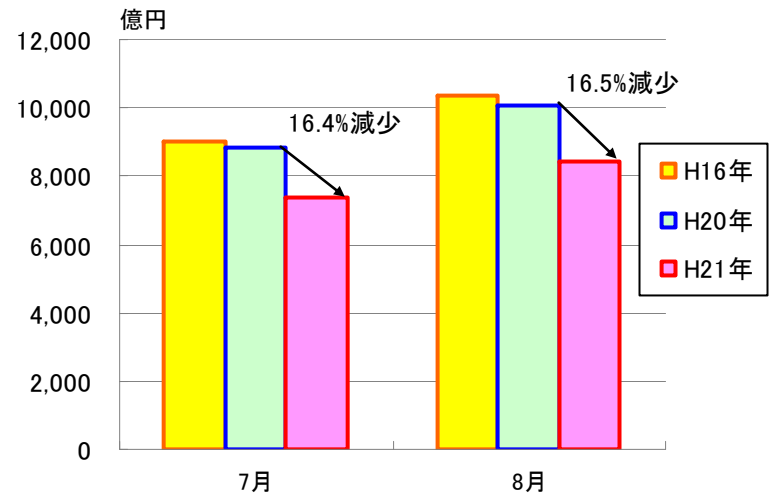
○平成21年8月の水産物輸入金額は1,023億円で、前年同月と比べ17.2%減少した。これは、まぐろ類(12.8%増)、うなぎ調製品(240.8%増)、めめけ(あかうお)(21.3%増)等で輸入金額が増加した以上に、えび(20.0%減)、たら(60.5%減)、さけ・ます(10.7%減)等の輸入金額が減少したためである。

○平成21年の水産物の累計輸入金額(真珠除く)は8月までで8,406億円で、前年同期と比べ16.5%減少した。品目別にみると、あさり(51.2%増)、かつお類(22.3%増)、魚油(20.2%増)で輸入金額が増加。国内需要の低迷や円高により、まぐろ類(14.1%減)で輸入金額が減少。また、たらの卵(42.6%減)、えび(12.9%減)で輸入金額が減少した。

■水産物輸入金額の推移(単月ベース)



■7月、8月の累計輸入金額の変化



輸入	H20計		H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21累計
	金額(億円)	15,249	1,074	823	937	1,220	1,115	1,073	1,141	1,023	8,406
	前年同月比	-3.9%	-11.8%	-24.7%	-19.0%	-10.6%	-18.9%	-15.5%	-15.8%	-17.2%	-16.5%
	H16年同月比	※-0.8%	-3.7%	-18.6%	-36.3%	-15.2%	-10.5%	-19.0%	-18.4%	-24.2%	-18.8%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注:1)表中の※については、平成15年合計値との比較である。

2)毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

(参考)品目別の累計輸出入金額

輸出金額(億円)				輸入金額(億円)			
品目	平成21年 1～8月	平成20年 1～8月	前年 同月比	品目	平成21年 1～8月	平成20年 1～8月	前年 同月比
真珠	121.4	212.4	-42.8%	まぐろ類(生・蔵・凍)	1293.4	1506.3	-14.1%
まぐろ類(生・蔵・凍)	75.9	69.5	9.3%	えび(活・生・蔵・凍)	1075.7	1235.5	-12.9%
ホタテ貝(生・蔵・凍・塩・乾)	74.1	90.3	-18.0%	さけ・ます(生・蔵・凍)	920.6	928.1	-0.8%
乾燥なまこ(調製)	63.3	91.0	-30.5%	えび(調製)	332.2	347.4	-4.4%
貝柱(調製)	55.1	45.4	21.4%	たら卵(生・蔵・凍)	291.3	507.3	-42.6%
さば(冷蔵・冷凍)	50.8	103.1	-50.7%	かに(活・生・蔵・凍)	274.0	380.4	-28.0%
すけとうだら(生・蔵・凍)	43.6	47.0	-7.3%	いか(活・生・蔵・凍もんごう含む)	226.8	256.4	-11.6%
さけ・ます(生・蔵・凍)	38.5	45.5	-15.3%	うなぎ(調製品)	182.2	207.8	-12.3%
ぶり(生・蔵・凍)	38.3	26.5	44.9%	たこ(活・生・蔵・凍)	172.5	269.4	-36.0%
練り製品(魚肉ソーセージ等)	34.1	40.3	-15.3%	魚粉	171.0	186.1	-8.1%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」、財務省「貿易統計」

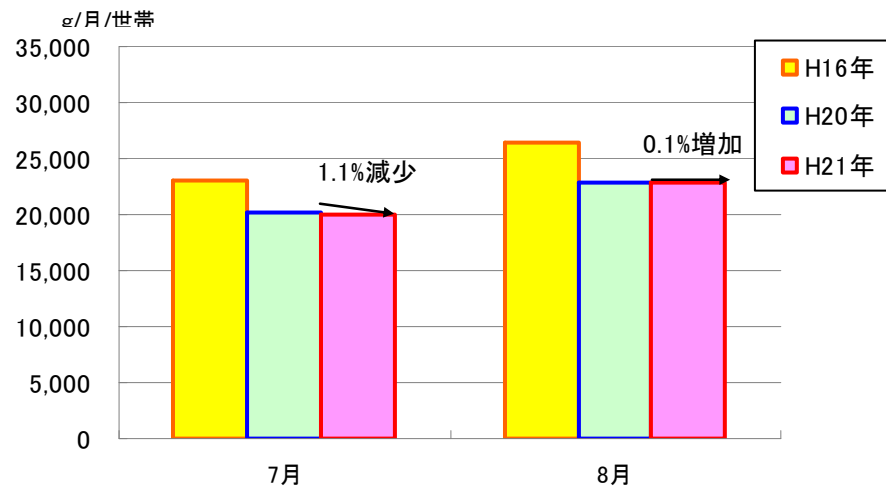
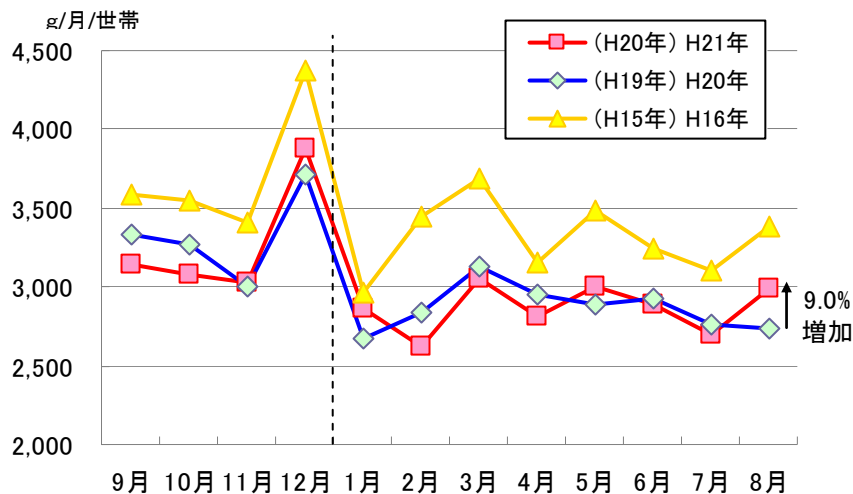
注:1)本表における数値は、「農林水産物輸出入情報」(以下「輸出入情報」という)の集計区分による数値を基に水産庁漁政部企画課で集計したものである。

5-① 生鮮魚介の家計購入数量の動向

○平成21年8月の生鮮魚介1世帯1月当たりの購入数量は2,989g/月/世帯で、前年同月と比べ9.0%増加した。これは、単月ベースでさしみ盛合せ(11.5%減)、かに(40.0%減)、あさり(13.3%減)、かれい(7.0%減)等で購入数量が減少した以上に、さんま(25.9%増)、まぐろ(19.2%増)、ぶり(34.1%増)さば(33.3%増)等の購入数量が増加したことによる。

○平成21年の生鮮魚介1世帯1月当たりの累計購入数量は8月までで22,942g/月/世帯で、前年同期と比べ0.1%増加した。これは、いか(6.2%減)、かつお(6.8%減)、あじ(4.5%減)等の品目で購入数量が減少した以上に、さんま(18.6%増)、たこ(21.1%増)、えび(8.0%増)、たい(11.5%増)等の品目で購入数量が増加したことによる。

■魚介類1世帯1月当たり購入数量の推移(単月ベース) ■7月、8月の魚介類1世帯1月当たり購入数量の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21累計
生鮮魚介 購入数量	数量(g/月/世帯)	36,031	2,868	2,626	3,056	2,818	2,997	2,887	2,701	2,989	22,942
	前年同月比	-5.0%	7.2%	-7.6%	-2.5%	-4.3%	3.8%	-1.4%	-2.2%	9.0%	0.1%
	H16同月比	※-14.9%	-3.2%	-23.8%	-17.1%	-10.6%	-14.1%	-11.0%	-13.1%	-11.6%	-13.3%

資料:総務省「家計調査報告」

注: 1) 表中の※については、平成15年合計値との比較である。

2) 本統計は、全国の農林漁家を除く二人以上の8076世帯を対象とするサンプル調査の結果を集計したものである。

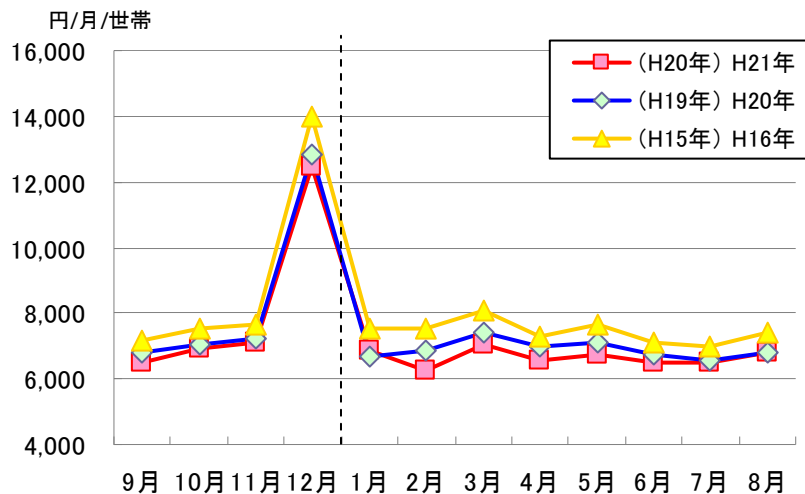
3) 生鮮魚介は、鮮魚16品目、貝類5品目の合計である。

5-② 魚介類の家計消費支出の動向

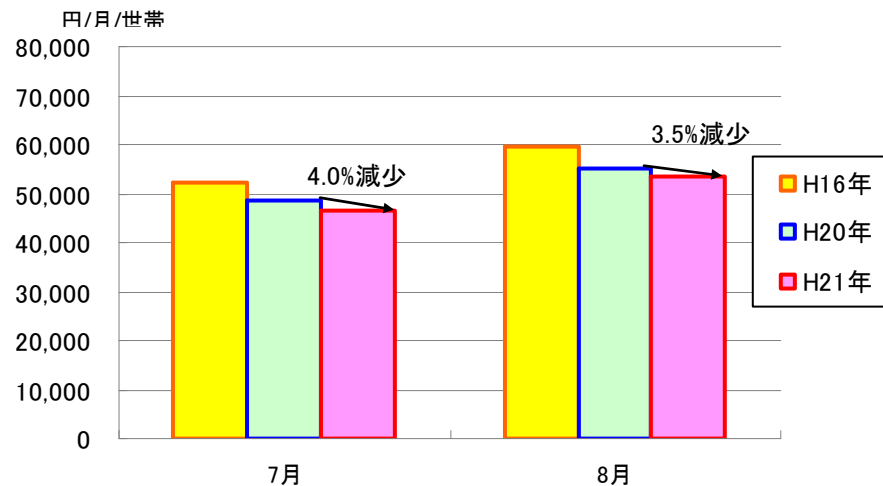
○平成21年8月の魚介類1世帯1月当たりの支出金額は6,803円/月/世帯で、前年同月並となった。これは、まぐろ(9.9%増)、さんま(11.4%増)、魚介の缶詰(7.6%増)、ぶり(8.6%増)等で支出金額が増加したものの、さしみ盛合わせ(8.8%減)、しらす干し(14.1%減)、煮干し(28.2%減)、かに(12.5%減)等の支出金額が減少したことによる。

○平成21年の魚介類1世帯1月当たりの累計支出金額は8月までで53,272円/月/世帯で、前年同期と比べ3.5%減少した。これは、ちくわ(5.8%増)、たこ(7.2%増)、えび(2.7%増)、さんま(8.9%増)等の品目で支出金額が増加した以上に、いか(6.7%減)、まぐろ(3.2%減)、あじ(9.9%減)、たらこ(5.9%減)、かつお(8.2%減)等の品目で支出金額が減少したことによる。

■魚介類1世帯1月当たり支出金額の推移(単月ベース)



■7月、8月の魚介類1世帯1月当たり支出金額の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21累計
魚介類 支出金額	金額(円/月/世帯)	88,211	6,851	6,230	7,039	6,573	6,767	6,515	6,494	6,803	53,272
	前年同月比	-3.5%	2.3%	-9.6%	-5.0%	-6.0%	-4.9%	-3.7%	-0.9%	0.0%	-3.5%
	H16同月比	※-10.4%	-9.2%	-17.5%	-12.7%	-9.7%	-11.8%	-8.1%	-7.1%	-8.4%	-10.6%

資料:総務省「家計調査報告」

注: 1) 表中の※については、平成15年合計値との比較である。

2) 本統計は、全国の農林漁家を除く二人以上の8076世帯を対象とするサンプル調査の結果を集計したものである。

3) 魚介類は、生鮮魚介21品目、塩干魚介7品目、魚肉練製品4品目および他の魚介加工品5品目の合計である。

(参考)品目別の1世帯当たり購入数量及び支出金額

品目	購入数量				支出金額				品目	支出金額			
	平成21年 8月	対前年 同月比	平成21年 1～8月	対前年 同月比	平成21年 8月	対前年 同月比	平成21年 1～8月	対前年 同月比		平成21年 8月	対前年 同月比	平成21年 1～8月	対前年 同月比
鮮魚	2,734	8.3%	20,638	-0.1%	3,783	0.2%	28,835	-3.7%	塩干魚介	1,239	-1.9%	9,724	-6.5%
まぐろ	211	19.2%	1,645	-1.5%	509	9.9%	3,762	-3.2%	塩さけ	158	-0.6%	1,234	-4.6%
あじ	131	10.1%	1,137	-4.5%	130	0.8%	1,070	-9.9%	たらこ	254	2.8%	1,811	-5.9%
いわし	67	11.7%	550	7.6%	49	2.1%	434	-1.8%	しらす干し	116	-14.1%	969	-9.1%
かつお	92	-3.2%	789	-6.8%	154	-1.9%	1,227	-8.2%	干しあじ	95	4.4%	767	-5.0%
かれい	66	-7.0%	882	0.6%	89	-1.1%	1,036	-7.7%	干しいわし	31	14.8%	277	-8.0%
さけ	256	5.3%	2,007	2.3%	342	-0.3%	2,681	-1.5%	煮干し	28	-28.2%	251	-12.8%
さば	112	33.3%	865	0.9%	82	7.9%	716	-3.9%	他の塩干魚介	557	-1.6%	4,415	-6.5%
さんま	394	25.9%	1,101	18.6%	294	11.4%	662	8.9%	魚肉練製品	638	2.9%	5,402	-0.2%
たい	62	29.2%	551	11.5%	107	1.9%	883	-5.1%	揚げかまぼこ	184	5.1%	1,651	2.9%
ぶり	118	34.1%	1,152	1.7%	176	8.6%	1,864	-4.2%	ちくわ	140	8.5%	1,190	5.8%
いか	291	6.6%	1,869	-6.2%	252	0.8%	1,786	-6.7%	かまぼこ	224	-3.9%	1,683	-8.1%
たこ	78	21.9%	557	21.1%	134	6.3%	918	7.2%	他の魚肉練製品	90	8.4%	875	2.7%
えび	180	11.8%	1,309	8.0%	299	-1.0%	2,224	2.7%	他の魚介加工品	856	0.1%	6,374	-1.2%
かに	30	-40.0%	334	1.8%	70	-12.5%	726	-3.3%	かつお節・削り節	84	3.7%	632	-0.8%
他の鮮魚	389	4.3%	3,871	-5.2%	558	-4.9%	5,216	-7.0%	魚介の漬物	215	-2.7%	1,706	-1.3%
さしみ盛合わせ	184	-11.5%	1,340	-3.0%	539	-8.8%	3,625	-2.9%	魚介のつくだ煮	86	-1.1%	649	-9.4%
貝類	251	15.1%	2,287	1.8%	288	-1.4%	2,937	-2.4%	魚介の缶詰	226	7.6%	1,639	3.1%
あさり	65	-13.3%	812	-5.7%	66	-8.3%	779	-5.6%	他の魚介加工品の その他	245	-4.3%	1,751	-1.6%
しじみ	40	53.8%	230	10.0%	45	21.6%	307	3.4%					
かき	3	50.0%	302	0.0%	4	0.0%	485	-0.8%					
ほたて貝	85	16.4%	657	7.7%	128	0.0%	1,009	-0.8%					
他の貝	48	41.2%	254	1.2%	45	-13.5%	357	-7.3%					

資料:総務省「家計調査報告」
(農林漁家世帯を除く2人以上の世帯)

○本資料は、各々の出典に基づいて水産庁漁政部企画課で作成したものであり、本資料中における平成19年及び平成20年合計値は速報値である。

○次回(平成21年9月版)の発行は、平成21年11月中旬の予定であるが、出典の公表時期などにより前後することがある。

お問い合わせ先

水産庁 漁政部 企画課 動向分析班
担当 長尾

電話:03-3502-8111(内線6578)

直通:03-6744-2344